

## 「和田島の女性パワー」で 浜(漁業地域)を元気に!!

和田島漁業協同組合 女性部



パッチ(船曳)網の漁船

女性部ホームページより

徳島県小松島市和田島町 和田島漁業協同組合 濱口 英代

## 徳島県 和田島漁業協同組合

### 漁協概要



和田島町は徳島県小松島市にあり、市の中心部より8km程離れた地域に位置する昔から漁業の盛んな町です。和田島漁業協同組合は沿岸漁業協同組合として、昭和24年に設立し、現在は約380名の組合員により構成されています。組合員は、紀伊水道を主な漁場としています。この海域は、外海と内海を行き来する魚の通路に当たり、また吉野川・那賀川などの大河川の流入もあることから、大変よい漁場となっています。代表的な漁業は、瀬戸内海機船船曳き網(通称パッチ網)、小型機船底曳き網・ワカメ等の養殖・刺網・小型定置網漁業などであり、ちりめんをはじめ、はも・エビ・イカなどを漁獲しています。このうち、ちりめんは『和田島ちりめん』としてブランド化に力を入れております。

## 漁協直営「ちりめんの店」

和田島ちりめん  
全国発送、承ります!!



★1番の人気商品  
これだての「かまあげちりめん」

ちりめんの天日干し作業  
女性部の嶋滝貴美子さん

## 和田島漁協女性部 部長 嶋滝貴美子さん

### 小松島市HP「おいしいネット」で紹介

モモヒキ形の網を引く2隻の漁船と運搬船1隻が船団(1ヶ統という)を組んで漁を行う。和田島にはパッチ網漁を行う船団が30ヶ統あり漁が行われるのは日の出から日没まで。シラス(生)の水揚げは漁獲量の多い時期で1ヶ統1回あたり約500kg程度。運搬船は1日3回程、漁獲物を運んで港に帰ってくる。「岸壁に船が着いたら、私たち女性陣の仕事が始まるんよ」と語る嶋滝貴美子さんは、3代にわたりシラス漁を営む家に嫁いで27年のベテランだ。

### 東日本大震災の支援



ちりめん市においては  
★募金活動★東北3県  
漁協女性部  
活動の支援として  
商品の販売や  
パネル展示等も  
行なっている



## 女性部 LGL活動・地域貢献活動

ライフジャケットすすめ隊  
委嘱を受けていざ出陣~



徳島海上保安部で委嘱式

資源ごみ回収の収益で  
老人施設に車いす贈呈



和田島漁協女性部から地元和田島町内にある「江藤病院」へ、車いす3台を寄贈するための贈呈式が行われました。同病院ロビーで行われた贈呈式で、嶋滝貴美子部長は「自分たち女性部だけの活動に留まらず、少しでも地域の方のお役に立てばとの思いで始めた活動が、このような形で実現できました」と晴れやかな笑顔で述べ、車いすを江藤和子院長に引き渡した。

## 和田島地区 婦人防火クラブ

県政だより H26.7月号 掲載



炊き出し訓練及び日本赤十字社  
による救急法講習会  
H22・10・17



ちりめんの産地として知られる、小松島市和田島町。地元の自主防災組織として「和田島地区婦人防火クラブ」が誕生したのは、今から4年前(昭和55年)のことでした。理事長の安部京子さんは、クラブ発足の理由を次のように話します。「風間は男性たちが出ているため、火災が起きたとき迅速に対応できないという不安がありました。そこで、パッチ網業者の女性が集まり、家庭の防火意識を高めるための活動を始めたのがきっかけです」



## 和田島漁協主催 和田島「漁祭り」



勝浦座による えびす舞・人形浄瑠璃公演  
(毎年☆4月/最初の大安の日)



☆ 女性部も行事に参加

## 徳島の人形芝居 阿波十郎兵衛敷



阿波のえべっさんと三番壺について  
パネルディスカッション

### 和田島の漁祭りが紹介された

和田島では戦前、戦後に現在のちりめん加工場が建っている場所まで、太夫をよんで人形浄瑠璃の上を年に数回上演をしていたそうです。その後、中断していたが、昭和40年代になり当時の組合長が知り合いを通じて、勝浦座に要請をした。  
海上安全と大量祈願のため、えびす舞と三番壺をお願いしている。  
事代主神社でご祈禱をした後、和田島の浜まわり、各場所では、お年寄りや子供達が地元の人に来るのを待ち構えている。港、周辺でもえびす舞を披露。以前は、旧の節句に行っていた。



阿波十郎兵衛敷  
平成22年11月25日木曜日  
坂口英代さん(小松島市和田島漁業協同組合事務) 吉坂保紀さん(徳島市阿国本町商店街振興組理事長) 池内 勲さん(勝浦座座長) 高野文子さん(阿波十郎兵衛座座長) 今回のテーマである【阿波のえべっさんと三番壺】について討論

## こまつしま漁と農ゆめ会議

- 取組みの骨格**
- 目的
    - ・漁業・農業の連携による新たな「居働づくり」「担い手づくり」「仕事づくり」
  - 活動の項目(5つの活動)
    - ・A既存資源の調査・活用、B6次産業化促進、C担い手育成・交流連携の促進
    - ・D低炭素型活動促進、E市民防災促進



## ゆめ会議の活動経過

平成23年度：体制づくり、ビジョンづくり

計画

平成24年度：漁師体験、ちりめん市、学習会、勉強会、6次化商品試作練習

検討・実践

平成25年度：漁師体験、ちりめん市、学習会、勉強会、料理づくりシェフ実践(元気会)

## 月に一度のワークショップ・防災講座

- ゆめ会議のプロセス(要点)
  - ・コア会議、検討会
  - ・コア会議：調整の場
  - ・検討会：意見抽出、合意形成、共有の場
  - ・会議の進行のしかた(ワークショップによる進行)
    - 情報共有、振り返り、意見交換
    - カードを使用し、一人一人の意見を見える化
    - 全員が発言
    - 意見の集約(合意形成)
    - 広く意見抽出、共有、全員で絞り込み
    - 拡散→集約(捨てる) →共有

2014 1/18  
こまつしま、ゆめ会議防災講座

プログラム

- 【趣向】 ゆめ会議の活動(会長：嶋岡美奈子)
- 【事例】 地産地消の取組・実践事例
  - ・事例① 小松島市における漁業・農業取組の取り組みについて
  - ・事例② 女性子育てでの地域による防災活動の事例
- 【体験】 食さなのときあななの有難?クロスロード・ワークショップ
  - ・防災ファシリテーター：澤田博明(徳島大学客員教授)、井野 弘志(徳島大学研究員)
- 【講話】 被災地へ支援(避難の被災、女性・子育ての難)
  - ・講師：志賀基明氏(全道漁業連・会長、福島県漁協専任幹部連絡協議会・顧問)



## 和田島女性元気会

地域の水産業の再生・強化への取組を協働型で連携

女性の活躍による構成

徳島県水産課

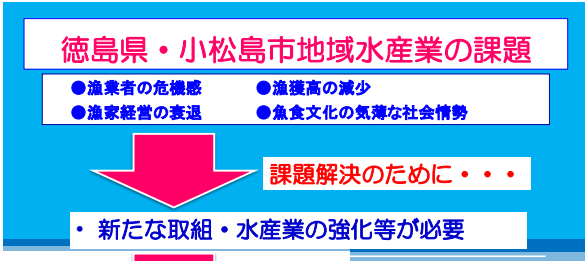
小松島市産業振興課

- 和田島漁業協同組合女性部(漁業団体)
- (社)CS阿波地域再生まちづくり(地域団体)
- 助言アドバイス・指導(行政)
- 助言アドバイス・指導(行政)

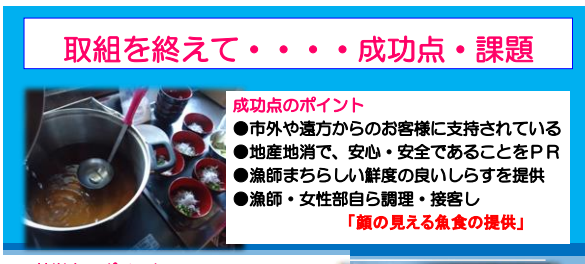
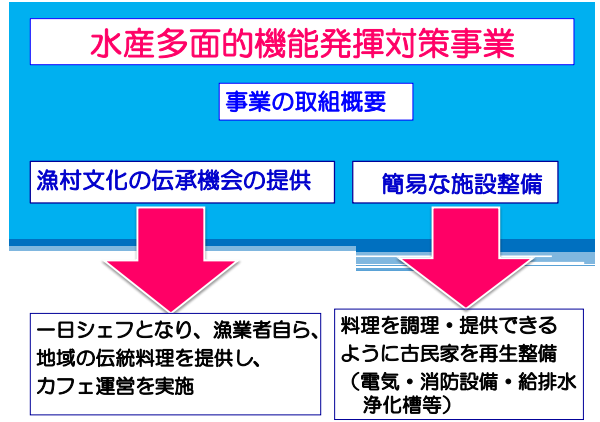
●産学官民連携体制による取組実践



●生産者や地域団体・学識者での構成



課題解決や解決に向けたきっかけづくりのために水産多面的機能発揮対策事業を活用し、魚食文化の継承を实践



- 苦労点のポイント**
- 出漁をしない時期での食材確保
  - 毎回同じ味の提供（作り方）の工夫
- アイデアのポイント**
- 家庭で作りやすいメニューの提供
  - 素材を活かした料理
  - 懐かしい味の再現へのこだわり



## 和田島ちりめんのおいしさPR

ちりめんやシラスをふんだんに使った「ちりめん御膳」  
H26.7.20 限定30食 試食会を行った

徳島新聞掲載  
2014.7.20



徳島新聞掲載  
2015.1.10

元氣会が提供するのは、釜揚げしたシラスや薬味を盛り付けた丼、シラスのすまし汁、漬物のセット。  
大正期の旧商家を利用した「なつ家」で、元氣会が和田島のシラスを調理し、産地ならではの味を楽しんでもらう。



## 和田島の「ちりめんモンスター」

ちりめんに混ざる「稚魚」を探す「ちりめんモンスター」こと「わだもん」を始めるため、まず、自分達も練習  
大人も夢中になった！

チリモン（チリメンモンスター）は、ちりめんじゃこの中に入っている小さな生き物たちのことです。チリモンの中には、いろいろな魚のこども、タコやイカ、貝の仲間、エビやカニ、タツノオトシゴ、クラゲやヒトデなど、たくさんの種類があります。

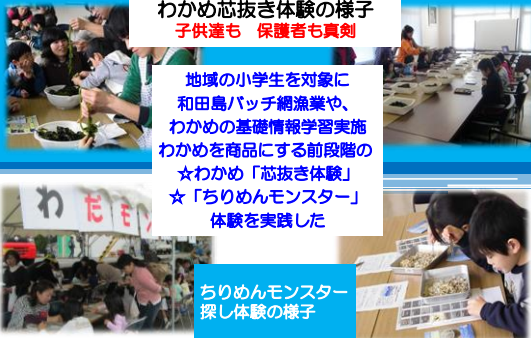


## 和田島地域 海洋環境学習

わかめ芯抜き体験の様子  
子供達も 保護者も真剣

地域の小学生を対象に  
和田島パッチ網漁業や、  
わかめの基礎情報学習実施  
わかめを商品にする前段階の  
☆わかめ「芯抜き体験」  
☆「ちりめんモンスター」  
体験を実践した

ちりめんモンスター  
探し体験の様子



## 女性部主催「和田島ちりめん市」

ちりめん市の目的  
①消費拡大 ②価格上昇 ③付加価値づけ  
H24・H25・H26 3回実施、H27年も計画中



女性漁業者自らが水産業の強化や  
活性化を実践し地産産品の強化に  
取り組んでいます

## 第3回「ちりめん市」は台風接近中・・・

嶋崎貴美子 部長

当日は女性部パワーで、  
晴天に!!

「平成26年国の沿岸漁業リーダー・女性育成事業」を活用  
女性部テント、販売用テーブル、ポロシャツ等を整備

特別参加  
海上保安部「うみまる」  
小松島市「こまポン」  
「マイバックガールズ」

徳島県水産課の協力による  
☆タッキングフェール



## 地元「和田島小」特産品のPR

小松島市の和田島小3年生が、地元特産のチリメンをPRする曲を作った。CDに収録して地元スーパーで定期的に流されているほか、和田島漁協女性部もイベントで活用する。児童らはキャラクター入りのしおりやバッジなども作りチリメンの知名度アップに一役買う。曲名は「大すぎ和田島ちりめん」。3番まであり「きれいな海で育ったシラス」「おいしいかまあげちりめんになるよ」など分かりやすい言葉を使って3人が作詞。ポニーテッドの「サモア島の歌」の曲に合わせ、4・2人全員で録音した

徳島新聞掲載  
「ちりめんの歌」制作  
和田島小3年生  
地元特産品をPR

ちりめん市で  
☆手作りグッズ  
☆ちりめんの歌



## 神戸まつりに出店(漁協) 和田島ちりめんのPR

ステージで  
和田島  
ちりめん  
のPR

鳴海貴美子さんと女性部メンバー  
ちりめんの試食に長蛇の列



徳島の農林水産物の魅力をPRする  
ための、移動ブランドショップ  
「新鮮なっ!とくしま」号において

## 魚食文化の継承の必要性

必要性①：地域の魚食文化の継承

必要性②：魚食の食育推進

必要性③：地場水産業の「安心」「安全」の信頼の確立

★ 外国産の魚の普及 →×

★ 産地の偽造問題

(消費者の信頼の低下) →×

●地域の伝統産業を維持・

継続するためには・・・



「保全」と「活用」することが大切であり、資源の恩恵を受け、産業  
も人々も暮らしており、地域資源を様々な形で、  
伝承や継承することが、持続可能な水産業づくりである

地域の水産業の再生・強化への取組を

**協働型で連携する事が重要**

ひとつの目的を共有し、  
協力して活動している状態、  
かつ、これらが自己意思決定している状態

浜(漁業地域)の活性化のため

頑張っていきましょう!!

NPO法人マリンネットワーク様

全国の漁協女性部様

本日 ご参加の皆様

みなさまのご健勝と  
今後、益々のご発展をお祈り致します

ご静聴ありがとうございました